

【プログラム名】

◎こころをつなぐ大事なことば

家庭教育支援ガイドブック「あいさつで築く人間関係」

1 プログラムの準備等

- 適切な実施時期：保護者の参加が多い行事等
- 実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）
- 対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもの保護者 ※30人を想定
- 準備物、配布物

【配布物】

- ・A4用紙（1人3～4枚）・筆記具・バインダー ×6班分
※グループ作りの場面で配布
- ・家庭教育支援ガイドブック（2ページ分） × 30人分
「あいさつで築く人間関係」と「素直に言えるようになりたい大事な言葉」
※グループワーク終了後にまとめて配布

【備品】

- ・ホワイトボード（両面使えるタイプが望ましい）

◎表面：あらかじめ記入



(ア) アイスブレイク

【笑顔であいさつ（2人一組）】

- ・3分間、自由に動いて、なるべく多くの人と笑顔であいさつを交わす。（距離は保つ）

[初めて会話する相手] → 「初めまして〇〇です。よろしくお願いします！」

[知っている相手] → 「こんにちは〇〇です。よろしくお願いします！」

◎裏面：あらかじめ記入

(イ) 【場 面】

【想定される言葉】

- | | |
|---------|----------------------------|
| ・初対面 | はじめまして。どうぞよろしくお願いします。 |
| ・人と会う | おはようございます。 こんにちは。 こんばんは。 |
| ・人とわかれる | さようなら。おやすみなさい。 |
| ・食事 | いただきます。ごちそうさまでした。 |
| ・外出、帰宅 | いってきます。／いってらっしゃい ただいま／おかえり |
| ・お礼をいう | ありがとうございます。／どういたしまして。 |
| ・謝る | ごめんなさい。 すみません。 |

○その他（座席など）

- ・大きなテーブルが6つあるのが好ましいが、なければ人数分の椅子を準備する。
- ・プログラムで使用するエピソードは、なし。
- ・グループワークは2つ行う。

2 展開例 (15:00~15:50 に実施の場合)

時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00~ (5分)	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターあいさつ (A・B)、自己紹介 ・今日の講座の趣旨と流れの説明 (あいさつの印象の差を感じてもらえたか確認) 	<p>あいさつ・自己紹介時</p> <p>A : 元気、はきはき、視線上 B : 普通、落ち着き、視線下</p>
15:05~ (7分)	<p>○アイスブレイク (やり方) 板書内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(ア) アイスブレイク 【笑顔であいさつ (2人一組)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分間、自由に動いて、なるべく多くの人と笑顔であいさつを交わす (距離は保つ)。時間は3分 [初めて会話する相手] →「初めまして○○です。よろしくお願いします！」 [知っている相手] →「こんにちは○○です。よろしくお願いします！」 </div> <p>【グループづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループづくり (※そばにいる人と) →着席 6班 (各5名) ※参加者を30人と想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方はホワイトボードに書いておく。 ・いつものメンバーで固まらないよう促す。 <p>※3分間で7~8人が目安</p>
15:12~ (6分)	<p>○グループワーク 【グループワーク1「あいさつ探し」】 (やり方)</p> <p>※事前に「記録係」と「発表係」を決めてもらう。</p> <p>①日常で交わすあいさつを、思いつく限り挙げる。 2分</p> <p>②記録係は、出てきたあいさつを用紙に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明後、荷物を持ってグループワークの場所に移動するよう指示する。 ・「A4用紙」「筆記具」配布
15:18~ (8分)	<p>【全体共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表者が出てきたあいさつを発表する。 ・ファシリテーターはホワイトボードにあいさつを書き出す。 <p>※すでにホワイトボードに書かれている場合はチェック印を付け、まだ出ていないあいさつがあれば追記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ」言葉の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ (イ)「場面」を記入しておいたホワイトボードを裏返す。 ・日頃の家族間のあいさつを振り返ってもらう。

<p>15:26～ (9分)</p>	<p>【グループワーク2「私の周りのあいさつ名人」】 (やり方)</p> <p>※事前に「記録係」と「発表係」を決めてもらう。</p> <p>①家族、ご近所、職場など…自分の周りで気持ちよい、感じのよいあいさつをする人を思い出し、紹介する(1人1分:全体で6分程度)。</p> <p>②記録者は、出てきた意見を用紙に記入する。</p>	<p>・「A4用紙」「筆記具」の確認</p>
<p>15:35～ (10分)</p>	<p>【全体共有】</p> <p>・各班の発表者は、出てきた意見を発表する。 ※各班、1例ずつ紹介(×6班)</p> <p>・ファシリテーターは、出てきた意見をホワイトボードにまとめる。</p>	<p>※参加者にあいさつの意義や魅力をより感じてもらえるよう、うなずいたり、一言加えたりするなど、肯定的な反応を示しながらまとめる。</p>
<p>15:45～ (5分)</p>	<p>○まとめ</p> <p>・ファシリテーターは、以下のポイントに留意しながら話をまとめる。</p> <p>☆あいさつは、相手とのコミュニケーションを円滑にするためのとても重要なツール。</p> <p>☆あいさつは、防犯上にも効果がある。</p> <p>☆まずはおとなが、気持ちのよいあいさつのお手本を見せていこう。</p> <p>☆心のこもった気持ちのよいあいさつを、家族間でたくさん交わせるといいね!</p>	<p>・ガイドブックのコピーを配布する。</p> <p>※「あいさつで築く人間関係」</p> <p>※「素直に言えるようになりたい大事な言葉」</p>
<p>15:50～</p>	<p>○閉会</p> 	

あいさつで築く人間関係

あいさつができるようになるにはこんな順序があります



おはよう
ございます



おはよう、
いってらっしゃい



おはよう、
いつも元気だね

1

まずは家族の間で
あいさつが自然にできるように
しましょう

3

お手本を示しながら、
子どもと一緒にあいさつが
できたときは、しっかり
ほめてあげましょう

2

地域では、親があいさつの
お手本を示しましょう

4

子どもが1人でもあいさつ
できるようになります

あいさつでつながる心

- 知り合うきっかけになる
- 気持ちがよくなる
- 体の調子や機嫌がわかる
- 話しやすくなる

心をつなぐいろんな言葉

- ★ さようなら
- ★ いただきます
- ★ ごちそうさまでした
- ★ おやすみなさい
- ★ ありがとう
- ★ ごめんなさい

防犯上の効果あり

- ① きちんとあいさつできる子は
声を出せる子なので、
不審者に狙われにくいと
言われています



- ② あいさつをすることで近所の人
がどこの子かわかり、何かあったときに
情報収集がしやすくなります

